

問1 一年中高温多湿で、背の高い樹木が密生している森林地帯のことを何という？

1. 硬葉樹林                      2. 照葉樹林                      3. 熱帯雨林                      4. 落葉広葉樹林

問2 農作物を収穫した後の土地の栄養を回復させるために、長期間耕作をやめて放置することを何という？

1. 輪作                              2. 連作                              3. 休耕                              4. 休閒

問3 ステップ気候の地域で、羊や牛などを飼育しながら移動する生活スタイルを何という？

1. 放牧                              2. 遊牧                              3. 集約的農業                      4. 企業的牧畜

問4 遊牧で得られる家畜の体からとれるものの中で、衣類や防寒具の原料になるものを何という？

1. 羊毛                              2. 皮革                              3. 乳製品                              4. 毛皮

問5 乾燥が激しく樹木がほとんど育たず、短い草が広がっている気候区を何という？

1. 湿原                              2. 森林                              3. 荒原                              4. 草原

問6 イスラム教の信者が、毎日礼拝の際に向かうことで知られるサウジアラビアにある聖地を何という？

1. メッカ                              2. エルサレム                      3. パチカン                              4. メディナ

問7 キリスト教がヨーロッパ各地に広まるきっかけとなった、古代の地中海世界を支配した大帝国を何という？

1. ビザンツ帝国                      2. 神聖ローマ帝国                      3. ローマ帝国                      4. フランク王国

問8 ユーラシア大陸や北アメリカ大陸の北部に広がる、寒冷な気候に適応した樹木が作る森林を何という？

1. 落葉樹                              2. 広葉樹                              3. 常緑樹                              4. 針葉樹

問9 ツンドラ気候の地域で、先住民が生活のために遊牧を行う動物を何という？

1. ラクダ                              2. ヤク                              3. リヤマ                              4. トナカイ

問10 大航海時代以降にヨーロッパ人の移住が進み、現在ではキリスト教徒が世界で最も多い国として知られる南アメリカの国を何という？

1. フィリピン                      2. アルゼンチン                      3. メキシコ                              4. ブラジル

問11 降水量が少なく農業に適さない地域で見られる、乾燥した草地や荒野が広がる気候帯を何という？

1. サバンナ                              2. ステップ                              3. パンパ                              4. プレーリー

問12 乾燥帯で見られる、短い雨季に短い草が生える程度の草原地帯を何という？

1. サバナ                              2. ツンドラ                              3. タイガ                              4. ステップ

問13 タイやミャンマーなどで広く信仰されている、個人の修行を重視する仏教の宗派を何という？

1. 密教                              2. 大乘仏教                              3. 禅宗                              4. 上座部仏教

問14 砂漠などの乾燥地域で、地下水や河川の水を利用して作物を育てる農業を何という？

1. 地下水                              2. 湧水                              3. 塩湖                              4. オアシス

問15 赤道付近の熱帯で、一年を通して発生する激しいにわか雨のことを何という？

1. 季節風                              2. フェーン                              3. モンスーン                              4. スコール

## 答え合わせ・解説

問1	答え 3 熱帯雨林	熱帯雨林とは、赤道に近い地域に分布する、背の高い常緑樹が層状に重なり合って密生する森林のことです。湿度が非常に高く、数多くの動植物が複雑な生態系を形成しています。ブラジルのアマゾン川流域などが代表的な例として知られています。
問2	答え 4 休閑	休閑とは、土地を使い続けずに休ませる期間のことです。この期間中に自然に植生が戻ることで、土壌に再び有機物が蓄積され、地力が回復します。熱帯の焼畑農業では、この休閑期間が数年～十数年と非常に長く設定されるのが一般的です。土地を転々と移動することで、自然環境との調和を図りながら食料を生産してきました。
問3	答え 2 遊牧	遊牧は、羊、山羊、馬、牛などの家畜を連れて、季節ごとに適した水場や草場を移動する生活形態です。定住型の農業に適さない環境を賢く利用する知恵であり、古くから中央アジアなどの乾燥地で発達しました。家畜は食料だけでなく、移動式住居の材料にもなります。
問4	答え 4 毛皮	毛皮や羊毛は、遊牧民にとって非常に重要な資源です。羊、ヤギ、ラクダなどを飼育することで、食料としての乳製品だけでなく、寒さをしのぐための衣服や寝具の材料を得ることができます。これらは生活必需品であると同時に、他の地域の人々と交換するための貴重な交易品でもあります。
問5	答え 4 草原	草原は、砂漠と湿潤地域の間位置するステップ気候などで見られる特徴的な景観です。背の高い樹木は育ちませんが、限られた雨水でも成長できる草が一面に広がります。家畜の飼育場所として非常に重要な役割を果たしています。
問6	答え 1 メッカ	メッカはイスラム教における最大の聖地であり、市内にあるカーバ神殿は礼拝の方向（キブラ）として定められています。世界中のイスラム教徒は、毎日この地に向かって礼拝を行うことが義務づけられています。
問7	答え 3 ローマ帝国	ローマ帝国は当初、キリスト教を弾圧していましたが、4世紀に皇帝がこれを公認しました。さらにその後、国教（公式の宗教）とすることで、教えは地中海周辺からヨーロッパ全域へと爆発的に広まりました。
問8	答え 4 針葉樹	針葉樹は、葉を細い針状にすることで、表面積を減らし、水分が凍結して失われるのを防いでいます。代表的な樹種にはトウヒやモミ、カラマツなどがあります。これらの樹木が密集して広大な森林を作っているのが、北半球の高緯度帯です。非常に成長が遅く、寒さに強いという特徴があります。
問9	答え 4 トナカイ	トナカイは、寒帯の過酷な環境に適応したシカの一種です。先住民はトナカイの群れを移動させながら飼育し、乳や肉を食料として、毛皮を衣服や住居の材料として利用してきました。人間とトナカイは共存関係にあり、伝統的な文化を支える柱となっています。
問10	答え 4 ブラジル	ブラジルは16世紀からポルトガルの植民地となり、言語や宗教が持ち込まれました。この結果、ブラジルではポルトガル語が公用語となり、キリスト教が人々の生活や文化に深く根付くこととなりました。現在でもブラジルは世界で最もカトリック教徒の数が多く国として知られています。
問11	答え 2 ステップ	ステップ気候は、砂漠気候よりもわずかに雨が多いため、短い草が地面を覆う草原地帯となっています。このような環境では、穀物を育てる農業には不向きですが、草を食べて育つ家畜を放牧することは可能です。そのため、中央アジアやモンゴルなどの地域では、人々が家畜を連れて水と草を求めて移動する遊牧というスタイルが古くから定着しています。
問12	答え 4 ステップ	ステップとは、降水量が年間を通じて少ない地域に見られる、樹木のない短い草の草原地帯です。雨が降る短い期間にだけ草が一斉に成長し、それ以外の時期は枯れ草となります。砂漠と草原の境界的な環境であり、広大な地域が家畜の放牧地として利用されることが多いのが特徴です。
問13	答え 4 上座部仏教	上座部仏教は、釈迦の教えを忠実に守ることを重視し、主に東南アジアのタイやミャンマー、スリランカなどで信仰されています。出家した僧侶の修行を重視し、戒律を守る生活を大切にします。一方、中国や日本に伝わった大乘仏教は、人々の救済を幅広く目指す教えとして発展しました。
問14	答え 4 オアシス	オアシスとは、砂漠の中で水が得られる場所を指します。古くから、地下水が出る場所や、乾燥地帯を流れる外来河川の流域で農業が行われてきました。ここでは、ナツメヤシや小麦、果物などが栽培され、乾燥地における農耕のオアシスとなっています。伝統的には地下の導水路である「カナート」などが使われてきました。
問15	答え 4 スコール	スコールとは、熱帯地方で見られる強烈なわか雨のことです。日中、気温が上昇して強い上昇気流が発生すると、積乱雲が急速に発達し、バケツをひっくり返したような激しい雨が短時間降ります。風を伴うことも多く、一過性ですが非常に勢いが強いのが特徴です。

問1 一年中高温多湿で、背の高い樹木が密生している森林地帯のことを何という？

1. 硬葉樹林                      2. 照葉樹林                      3. 熱帯雨林                      4. 落葉広葉樹林

問2 赤道付近の熱帯で、一年を通して発生する激しいにわか雨のことを何という？

1. 季節風                      2. フェーン                      3. モンスーン                      4. スコール

問3 紀元前6世紀ごろに誕生し、その後、中国や朝鮮半島を経て日本にも伝えられた世界的な宗教の起源となった地を何という？

1. インド                      2. タイ                      3. ミャンマー                      4. スリランカ

問4 一年の中で、最も気温が高い月と低い月の差のことを何という？

1. 降水量                      2. 日較差                      3. 気温減率                      4. 年較差

問5 イスラム教の信者が、毎日礼拝の際に向かうことで知られるサウジアラビアにある聖地を何という？

1. メッカ                      2. エルサレム                      3. バチカン                      4. メディナ

問6 遊牧で得られる家畜の体からとれるものの中で、衣類や防寒具の原料になるものを何という？

1. 羊毛                      2. 皮革                      3. 乳製品                      4. 毛皮

問7 草地で家畜を飼いすぎることによって土地が荒れ、砂漠のように植物が育たなくなることを何という？

1. 土壌侵食                      2. 砂漠化                      3. 塩類集積                      4. 森林破壊

問8 北アメリカにあるステップ気候の草原地帯を何という？

1. パンパ                      2. カンポ                      3. プレーリー                      4. セラーノ

問9 焼畑で作物を育てる際に、灰の中に含まれていて肥料として働く成分を何という？

1. 窒素                      2. リン                      3. カリウム                      4. マグネシウム

問10 キリスト教がヨーロッパ各地に広まるきっかけとなった、古代の地中海世界を支配した大帝国を何という？

1. ビザンツ帝国                      2. 神聖ローマ帝国                      3. ローマ帝国                      4. フランク王国

問11 タイやミャンマーなどで広く信仰されている、個人の修行を重視する仏教の宗派を何という？

1. 密教                      2. 大乘仏教                      3. 禅宗                      4. 上座部仏教

問12 東南アジアやブラジルなどで、カカオやコーヒーなどを輸出用に大規模に栽培する農園経営を何という？

1. 企業的農業                      2. 酪農                      3. プランテーション                      4. 混合農業

問13 冬の寒さが非常に厳しく、夏が短い気候区分を何という？

1. 亜寒帯                      2. 寒帯                      3. 熱帯                      4. 温帯

問14 農作物を収穫した後の土地の栄養を回復させるために、長期間耕作をやめて放置することを何という？

1. 輪作                      2. 連作                      3. 休耕                      4. 休閑

問15 寒帯の地域で、夏の間だけ地面がわずかにとけて草やコケが生える土地のことを何という？

1. ステップ                      2. ツンドラ                      3. タイガ                      4. サバナ

## 答え合わせ・解説

問1	答え 3 熱帯雨林	熱帯雨林とは、赤道に近い地域に分布する、背の高い常緑樹が層状に重なり合って密生する森林のことです。湿度が非常に高く、数多くの動植物が複雑な生態系を形成しています。ブラジルのアマゾン川流域などが代表的な例として知られています。
問2	答え 4 スコール	スコールとは、熱帯地方で見られる強烈なわか雨のことです。日中、気温が上昇して強い上昇気流が発生すると、積乱雲が急速に発達し、バケツをひっくり返したような激しい雨が短時間降ります。風を伴うことも多く、一過性ですが非常に勢いが強いのが特徴です。
問3	答え 1 インド	インドで誕生した仏教は、苦しみからの解放を説く教えとして、人々の間に急速に広まりました。その後、北方ルートを通して中央アジア・中国・朝鮮半島を経て、6世紀半ばに日本へ伝来しました。
問4	答え 4 年較差	年較差とは、一年のうちの最高平均気温と最低平均気温の差を指します。一般的に、海洋から遠い大陸の内陸部や亜寒帯の地域では、夏の高温と冬の極寒により、この差が極めて大きくなります。反対に、海洋に近い地域では海水の温度調整機能により、年較差は比較的小さくなる傾向があります。
問5	答え 1 メッカ	メッカはイスラム教における最大の聖地であり、市内にあるカーバ神殿は礼拝の方向（キブラ）として定められています。世界中のイスラム教徒は、毎日この地に向かって礼拝を行うことが義務づけられています。
問6	答え 4 毛皮	毛皮や羊毛は、遊牧民にとって非常に重要な資源です。羊、ヤギ、ラクダなどを飼育することで、食料としての乳製品だけでなく、寒さをしのぐための衣服や寝具の材料を得ることができます。これらは生活必需品であると同時に、他の地域の人々と交換するための貴重な交易品でもあります。
問7	答え 2 砂漠化	砂漠化は、過放牧によって草が根ごと食べ尽くされ、表土が風で飛ばされることで起こります。また、樹木の伐採や農耕の拡大も要因です。一度土地が砂漠化すると、土壌の保水力が失われ、再び植物が育つことは非常に困難になります。特に遊牧地域では、移動を繰り返す伝統的な暮らしを離れて定住が進むことで、特定の場所に負担が集中し、この現象が加速しています。
問8	答え 3 プレーリー	プレーリーは、北アメリカの乾燥した地域に分布する大草原です。かつてはバイソンが群れをなして生活していましたが、現在はその広大な土地の大部分が、最新の機械を用いた大規模な小麦栽培地として利用されています。乾燥帯の気候に合わせた土地利用が行われている好例です。
問9	答え 3 カリウム	焼畑で木を燃やすと、木に含まれていた栄養分が灰として残ります。この灰にはカリウムが豊富に含まれており、これが天然の肥料として作物の成長を助けます。また、灰は土壌をアルカリ性に傾ける性質があるため、酸性土壌になりやすい熱帯の土壌を中和する働きもあります。これにより、貧栄養な土地でも一時的に豊かな収穫を得ることが可能となります。
問10	答え 3 ローマ帝国	ローマ帝国は当初、キリスト教を弾圧していましたが、4世紀に皇帝がこれを公認しました。さらにその後、国教（公式の宗教）とすることで、教えは地中海周辺からヨーロッパ全域へと爆発的に広まりました。
問11	答え 4 上座部仏教	上座部仏教は、釈迦の教えを忠実に守ることを重視し、主に東南アジアのタイやミャンマー、スリランカなどで信仰されています。出家した僧侶の修行を重視し、戒律を守る生活を大切にします。一方、中国や日本に伝わった大乘仏教は、人々の救済を幅広く目指す教えとして発展しました。
問12	答え 3 プランテーション	プランテーションは、熱帯・亜熱帯地域における大規模な単一栽培農園のことです。コーヒー、カカオ、天然ゴム、サトウキビなどを専門的に生産し、多くを輸出に回します。広大な土地と、現地の安価な労働力や外国からの資本を組み合わせ成り立っています。
問13	答え 1 亜寒帯	亜寒帯は「冷帯」とも呼ばれ、一年を通じて気温が低いのが最大の特徴です。夏は短いものの、日照時間が長くなるため植物の成長は可能ですが、冬は極めて厳しい寒さとなります。この気候帯は主にユーラシア大陸の内陸部や北アメリカ大陸の北部に分布しています。降水量は少なめですが、気温が低いため蒸発量が少なく、湿潤な環境が保たれることが多いです。
問14	答え 4 休閑	休閑とは、土地を使い続けずに休ませる期間のことです。この期間中に自然に植生が戻ることで、土壌に再び有機物が蓄積され、地力が回復します。熱帯の焼畑農業では、この休閑期間が数年～十数年と非常に長く設定されるのが一般的です。土地を転々と移動することで、自然環境との調和を図りながら食料を生産してきました。
問15	答え 2 ツンドラ	ツンドラは、ロシア語の「木が生えない土地」に由来します。短い夏の間だけに地表の雪がとけ、地衣類やコケ類、わずかな草が生育します。地中の深い部分は一年中凍ったままであることが多く、地表のみが季節的に変化する過酷な植生環境です。



## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 インド	インドで誕生した仏教は、苦しみからの解放を説く教えとして、人々の間に急速に広まりました。その後、北方ルートを通して中央アジア・中国・朝鮮半島を経て、6世紀半ばに日本へ伝来しました。
問2	答え 2 ポドゾル	ポドゾルは、針葉樹林の腐植層の下に形成される灰白色の土壌です。酸性が強いため養分が溶け出しやすく、農業にはあまり適していません。寒冷な気候条件がもたらす独特の土壌形成プロセスによって、この色が特徴的な地層が作られます。
問3	答え 1 亜寒帯	亜寒帯は「冷帯」とも呼ばれ、一年を通じて気温が低いのが最大の特徴です。夏は短いものの、日照時間が長くなるため植物の成長は可能ですが、冬は極めて厳しい寒さとなります。この気候帯は主にユーラシア大陸の内陸部や北アメリカ大陸の北部に分布しています。降水量は少なめですが、気温が低いため蒸発量が少なく、湿潤な環境が保たれることが多いです。
問4	答え 4 草原	草原は、砂漠と湿潤地域の間位置するステップ気候などで見られる特徴的な景観です。背の高い樹木は育ちませんが、限られた雨水でも成長できる草が一面に広がります。家畜の飼育場所として非常に重要な役割を果たしています。
問5	答え 3 プレーリー	プレーリーは、北アメリカの乾燥した地域に分布する大草原です。かつてはバイソンが群れをなして生活していましたが、現在はその広大な土地の大部分が、最新の機械を用いた大規模な小麦栽培地として利用されています。乾燥帯の気候に合わせた土地利用が行われている好例です。
問6	答え 3 林業	林業は、森林を管理・保護し、木材として加工する産業です。切り出した木材は建築資材として使われるだけでなく、紙の原料となるパルプとしても活用されます。特に北欧やロシア、カナダなどでは、この豊富な森林資源を生かした林業や木材加工業が国を支える主要産業の一つとなっています。
問7	答え 3 プランテーション	プランテーションは、熱帯・亜熱帯地域における大規模な単一栽培農園のことです。コーヒー、カカオ、天然ゴム、サトウキビなどを専門的に生産し、多くを輸出に回します。広大な土地と、現地の安価な労働力や外国からの資本を組み合わせ成り立っています。
問8	答え 3 カナート	カナートは、山麓の地下水脈から平野部まで、傾斜を利用して地下に長いトンネルを掘り、水を引く仕組みです。この方法は蒸発を最小限に抑えることができ、砂漠のような過酷な環境でも安定した農業を可能にしました。
問9	答え 3 ラマダン	ラマダンはイスラム暦の第9月に行われる断食期間です。信者はこの期間中、日の出から日没まで一切の飲食を断ち、信仰を深め、貧しい人々に思いを寄せます。日没後には家族や友人と食事を共にし、お互いをいたわり合います。
問10	答え 4 モスク	モスクは、信者が礼拝を行うための施設です。特徴的なドーム型の屋根や、高い塔（ミナレット）が備わっているのが一般的です。ミナレットは、礼拝の時間を知らせる呼びかけを行う場所として使われてきました。内部には偶像が置かれず、壁には美しい幾何学模様などが施されていることが多いです。
問11	答え 3 ローマ帝国	ローマ帝国は当初、キリスト教を弾圧していましたが、4世紀に皇帝がこれを公認しました。さらにその後、国教（公式の宗教）とすることで、教えは地中海周辺からヨーロッパ全域へと爆発的に広まりました。
問12	答え 4 ステップ	ステップとは、降水量が年間を通じて少ない地域に見られる、樹木のない短い草の草原地帯です。雨が降る短い期間にだけ草が一斉に成長し、それ以外の時期は枯れ草となります。砂漠と草原の境界的な環境であり、広大な地域が家畜の放牧地として利用されることが多いのが特徴です。
問13	答え 4 焼畑農業	焼畑農業は、まず森林の一部を切り開いて燃やします。この時にできる灰は、アルカリ性の養分を豊富に含んでいるため、一時的に土地を肥沃にします。その灰を肥料として利用して穀物などを数年間栽培し、地力が低下したら別の場所に移動して再び同じ作業を行います。このサイクルにより、自然環境の回復を待ちながら農業を継続することができます。
問14	答え 4 年較差	年較差とは、一年のうちの最高平均気温と最低平均気温の差を指します。一般的に、海洋から遠い大陸の内陸部や亜寒帯の地域では、夏の高温と冬の極寒により、この差が極めて大きくなります。反対に、海洋に近い地域では海水の温度調整機能により、年較差は比較的小さくなる傾向があります。
問15	答え 4 上座部仏教	上座部仏教は、釈迦の教えを忠実に守ることを重視し、主に東南アジアのタイやミャンマー、スリランカなどで信仰されています。出家した僧侶の修行を重視し、戒律を守る生活を大切にします。一方、中国や日本に伝わった大乘仏教は、人々の救済を幅広く目指す教えとして発展しました。
問16	答え 3 氷雪気候	氷雪気候は、最暖月でも平均気温が0度を超えない、寒帯の中でも最も過酷な気候区分です。一年中地表が厚い氷雪に覆われており、植物はほとんど生育できません。南極大陸やグリーンランドの内陸部などがこの気候に該当します。



## 答え合わせ・解説

問1	答え 4 モスク	モスクは、信者が礼拝を行うための施設です。特徴的なドーム型の屋根や、高い塔（ミナレット）が備わっているのが一般的です。ミナレットは、礼拝の時間を知らせる呼びかけを行う場所として使われてきました。内部には偶像が置かれず、壁には美しい幾何学模様などが施されていることが多いです。
問2	答え 3 カナート	カナートは、山麓の地下水脈から平野部まで、傾斜を利用して地下に長いトンネルを掘り、水を引く仕組みです。この方法は蒸発を最小限に抑えることができ、砂漠のような過酷な環境でも安定した農業を可能にしました。
問3	答え 3 プレーリー	プレーリーは、北アメリカの乾燥した地域に分布する大草原です。かつてはバイソンが群れをなして生活していましたが、現在はその広大な土地の大部分が、最新の機械を用いた大規模な小麦栽培地として利用されています。乾燥帯の気候に合わせた土地利用が行われている好例です。
問4	答え 2 ツンドラ	ツンドラは、ロシア語の「木が生えない土地」に由来します。短い夏の間だけに地表の雪がとけ、地衣類やコケ類、わずかな草が生育します。地中の深い部分は一年中凍ったままであることが多く、地表のみが季節的に変化する過酷な植生環境です。
問5	答え 2 地中海性気候	地中海性気候は、夏は亜熱帯高圧帯の影響で乾燥して晴天が多く、冬は偏西風の影響で雨が降りやすいという特徴があります。この気候を利用して、乾燥に強いオリーブ、ぶどう、柑橘類などの果樹栽培が古くから盛んに行われてきました。
問6	答え 4 焼畑農業	焼畑農業は、まず森林の一部を切り開いて燃やします。この時にできる灰は、アルカリ性の養分を豊富に含んでいるため、一時的に土地を肥沃にします。その灰を肥料として利用して穀物などを数年間栽培し、地力が低下したら別の場所に移動して再び同じ作業を行います。このサイクルにより、自然環境の回復を待ちながら農業を継続することができます。
問7	答え 3 カリウム	焼畑で木を燃やすと、木に含まれていた栄養分が灰として残ります。この灰にはカリウムが豊富に含まれており、これが天然の肥料として作物の成長を助けます。また、灰は土壌をアルカリ性に傾ける性質があるため、酸性土壌になりやすい熱帯の土壌を中和する働きもあります。これにより、貧栄養な土地でも一時的に豊かな収穫を得ることが可能となります。
問8	答え 4 オアシス	オアシスとは、砂漠の中で水が得られる場所を指します。古くから、地下水が出る場所や、乾燥地帯を流れる外来河川の流域で農業が行われてきました。ここでは、ナツメヤシや小麦、果物などが栽培され、乾燥地における農耕のオアシスとなっています。伝統的には地下の導水路である「カナート」などが使われてきました。
問9	答え 3 林業	林業は、森林を管理・保護し、木材として加工する産業です。切り出した木材は建築資材として使われるだけでなく、紙の原料となるパルプとしても活用されます。特に北欧やロシア、カナダなどでは、この豊富な森林資源を生かした林業や木材加工業が国を支える主要産業の一つとなっています。
問10	答え 4 上座部仏教	上座部仏教は、釈迦の教えを忠実に守ることを重視し、主に東南アジアのタイやミャンマー、スリランカなどで信仰されています。出家した僧侶の修行を重視し、戒律を守る生活を大切にします。一方、中国や日本に伝わった大乘仏教は、人々の救済を幅広く目指す教えとして発展しました。
問11	答え 3 ローマ帝国	ローマ帝国は当初、キリスト教を弾圧していましたが、4世紀に皇帝がこれを公認しました。さらにその後、国教（公式の宗教）とすることで、教えは地中海周辺からヨーロッパ全域へと爆発的に広まりました。
問12	答え 3 熱帯雨林	熱帯雨林とは、赤道に近い地域に分布する、背の高い常緑樹が層状に重なり合って密生する森林のことです。湿度が非常に高く、数多くの動植物が複雑な生態系を形成しています。ブラジルのアマゾン川流域などが代表的な例として知られています。
問13	答え 4 トナカイ	トナカイは、寒帯の過酷な環境に適応したシカの一種です。先住民族はトナカイの群れを移動させながら飼育し、乳や肉を食料として、毛皮を衣服や住居の材料として利用してきました。人間とトナカイは共存関係にあり、伝統的な文化を支える柱となっています。
問14	答え 2 ステップ	ステップ気候は、砂漠気候よりもわずかに雨が多いため、短い草が地面を覆う草原地帯となっています。このような環境では、穀物を育てる農業には不向きですが、草を食べて育つ家畜を放牧することは可能です。そのため、中央アジアやモンゴルなどの地域では、人々が家畜を連れて水と草を求めて移動する遊牧というスタイルが古くから定着しています。
問15	答え 2 氷雪	氷雪は、ツンドラ気候などの寒冷な地域で地表を覆う氷の塊や積雪を指します。夏の短い期間だけ地表に近い層が少しだけとけることがありますが、地下深くは凍結したままです。この過酷な状態が、植物の生育を制限し、独自の生態系を維持する要因となっています。
問16	答え 4 休閑	休閑とは、土地を使い続けずに休ませる期間のことです。この期間中に自然に植生が戻ることで、土壌に再び有機物が蓄積され、地力が回復します。熱帯の焼畑農業では、この休閑期間が数年～十数年と非常に長く設定されるのが一般的です。土地を転々と移動することで、自然環境との調和を図りながら食料を生産してきました。

問1 ツンドラ気候において、夏にわずかに溶ける状態のものを何という？

1. 氷河                                      2. 氷雪                                      3. 万年雪                                      4. 海氷

問2 焼畑で作物を育てる際に、灰の中に含まれていて肥料として働く成分を何という？

1. 窒素                                      2. リン                                      3. カリウム                                      4. マグネシウム

問3 草地で家畜を飼いつぎることによって土地が荒れ、砂漠のように植物が育たなくなることを何という？

1. 土壌侵食                                      2. 砂漠化                                      3. 塩類集積                                      4. 森林破壊

問4 イスラム教の信者が、毎日礼拝の際に向かうことで知られるサウジアラビアにある聖地を何という？

1. メッカ                                      2. エルサレム                                      3. パチカン                                      4. メディナ

問5 タイやミャンマーなどで広く信仰されている、個人の修行を重視する仏教の宗派を何という？

1. 密教                                      2. 大乘仏教                                      3. 禅宗                                      4. 上座部仏教

問6 東南アジアやブラジルなどで、カカオやコーヒーなどを輸出用に大規模に栽培する農園経営を何という？

1. 企業的農業                                      2. 酪農                                      3. プランテーション                                      4. 混合農業

問7 一年中高温多湿で、背の高い樹木が密生している森林地帯のことを何という？

1. 硬葉樹林                                      2. 照葉樹林                                      3. 熱帯雨林                                      4. 落葉広葉樹林

問8 遊牧で得られる家畜の体からとれるものの中で、衣類や防寒具の原料になるものを何という？

1. 羊毛                                      2. 皮革                                      3. 乳製品                                      4. 毛皮

問9 イランなどの乾燥地域において、強い日差しによる蒸発を防ぎながら農業用水を運ぶために作られた、地下水路を何という？

1. ケナート                                      2. フォガラ                                      3. カナート                                      4. カレーズ

問10 キリスト教がヨーロッパ各地に広まるきっかけとなった、古代の地中海世界を支配した大帝国を何という？

1. ビザンツ帝国                                      2. 神聖ローマ帝国                                      3. ローマ帝国                                      4. フランク王国

問11 乾燥帯の地域で、地下水をくみ上げて農業を行う場所を何という？

1. オアシス                                      2. 三角州                                      3. フィヨルド                                      4. ワディ

問12 ユーラシア大陸や北アメリカ大陸の北部に広がる、寒冷な気候に適応した樹木が作る森林を何という？

1. 落葉樹                                      2. 広葉樹                                      3. 常緑樹                                      4. 針葉樹

問13 北アメリカにあるステップ気候の草原地帯を何という？

1. パンパ                                      2. カンボ                                      3. プレーリー                                      4. セラーノ

問14 ツンドラ気候の地域で、先住民が生活のために遊牧を行う動物を何という？

1. ラクダ                                      2. ヤク                                      3. リヤマ                                      4. トナカイ

問15 砂漠などの乾燥地域で、地下水や河川の水を利用して作物を育てる農業を何という？

1. 地下水                                      2. 湧水                                      3. 塩湖                                      4. オアシス

問16 降水量が少なく農業に適さない地域で見られる、乾燥した草地や荒野が広がる気候帯を何という？

1. サバンナ                                      2. ステップ                                      3. パンパ                                      4. プレーリー

## 答え合わせ・解説

問1	答え 2 氷雪	氷雪は、ツンドラ気候などの寒冷な地域で地表を覆う氷の塊や積雪を指します。夏の短い期間だけ地表に近い層が少しだけとけることがあります。地下深くは凍結したままです。この過酷な状態が、植物の生育を制限し、独自の生態系を維持する要因となっています。
問2	答え 3 カリウム	焼畑で木を燃やすと、木に含まれていた栄養分が灰として残ります。この灰にはカリウムが豊富に含まれており、これが天然の肥料として作物の成長を助けます。また、灰は土壌をアルカリ性に傾ける性質があるため、酸性土壌になりやすい熱帯の土壌を中和する働きもあります。これにより、貧栄養な土地でも一時的に豊かな収穫を得ることが可能となります。
問3	答え 2 砂漠化	砂漠化は、過放牧によって草が根ごと食べ尽くされ、表土が風で飛ばされることで起こります。また、樹木の伐採や農耕の拡大も要因です。一度土地が砂漠化すると、土壌の保水力が失われ、再び植物が育つことは非常に困難になります。特に遊牧地域では、移動を繰り返す伝統的な暮らしを離れて定住が進むことで、特定の場所に負担が集中し、この現象が加速しています。
問4	答え 1 メッカ	メッカはイスラム教における最大の聖地であり、市内にあるカーバ神殿は礼拝の方向（キブラ）として定められています。世界中のイスラム教徒は、毎日この地に向かって礼拝を行うことが義務づけられています。
問5	答え 4 上座部仏教	上座部仏教は、釈迦の教えを忠実に守ることを重視し、主に東南アジアのタイやミャンマー、スリランカなどで信仰されています。出家した僧侶の修行を重視し、戒律を守る生活を大切にします。一方、中国や日本に伝わった大乗仏教は、人々の救済を幅広く目指す教えとして発展しました。
問6	答え 3 プランテーション	プランテーションは、熱帯・亜熱帯地域における大規模な単一栽培農園のことです。コーヒー、カカオ、天然ゴム、サトウキビなどを専門的に生産し、多くを輸出に回します。広大な土地と、現地の安価な労働力や外国からの資本を組み合わせて成り立っています。
問7	答え 3 熱帯雨林	熱帯雨林とは、赤道に近い地域に分布する、背の高い常緑樹が層状に重なり合って密生する森林のことです。湿度が非常に高く、数多くの動植物が複雑な生態系を形成しています。ブラジルのアマゾン川流域などが代表的な例として知られています。
問8	答え 4 毛皮	毛皮や羊毛は、遊牧民にとって非常に重要な資源です。羊、ヤギ、ラクダなどを飼育することで、食料としての乳製品だけでなく、寒さをしのぐための衣服や寝具の材料を得ることができます。これらは生活必需品であると同時に、他の地域の人々と交換するための貴重な交易品でもあります。
問9	答え 3 カナート	カナートは、山麓の地下水脈から平野部まで、傾斜を利用して地下に長いトンネルを掘り、水を引く仕組みです。この方法は蒸発を最小限に抑えることができ、砂漠のような過酷な環境でも安定した農業を可能にしました。
問10	答え 3 ローマ帝国	ローマ帝国は当初、キリスト教を弾圧していましたが、4世紀に皇帝がこれを公認しました。さらにその後、国教（公式の宗教）とすることで、教えは地中海周辺からヨーロッパ全域へと爆発的に広まりました。
問11	答え 1 オアシス	オアシスとは、砂漠などの中であって、地下水を利用して植物が育ち、農業や集落が維持できる場所です。自然に湧き出る泉のほか、古い時代から開発された地下水路を利用して、ヤシや穀物、果物などを栽培するオアシス農業が行われています。
問12	答え 4 針葉樹	針葉樹は、葉を細い針状にすることで、表面積を減らし、水分が凍結して失われるのを防いでいます。代表的な樹種にはトウヒやモミ、カラマツなどがあります。これらの樹木が密集して広大な森林を作っているのが、北半球の高緯度帯です。非常に成長が遅く、寒さに強いという特徴があります。
問13	答え 3 プレーリー	プレーリーは、北アメリカの乾燥した地域に分布する大草原です。かつてはバイソンが群れをなして生活していましたが、現在はその広大な土地の大部分が、最新の機械を用いた大規模な小麦栽培地として利用されています。乾燥帯の気候に合わせた土地利用が行われている好例です。
問14	答え 4 トナカイ	トナカイは、寒帯の過酷な環境に適応したシカの一種です。先住民はトナカイの群れを移動させながら飼育し、乳や肉を食料として、毛皮を衣服や住居の材料として利用してきました。人間とトナカイは共存関係にあり、伝統的な文化を支える柱となっています。
問15	答え 4 オアシス	オアシスとは、砂漠の中で水が得られる場所を指します。古くから、地下水が出る場所や、乾燥地帯を流れる外来河川の流域で農業が行われてきました。ここでは、ナツメヤシや小麦、果物などが栽培され、乾燥地における農耕のオアシスとなっています。伝統的には地下の導水路である「カナート」などが使われてきました。
問16	答え 2 ステップ	ステップ気候は、砂漠気候よりもわずかに雨が多いため、短い草が地面を覆う草原地帯となっています。このような環境では、穀物を育てる農業には向きませんが、草を食べて育つ家畜を放牧することは可能です。そのため、中央アジアやモンゴルなどの地域では、人々が家畜を連れて水と草を求めて移動する遊牧というスタイルが古くから定着しています。